



自らの実践を通じて

Well-being経営の社会実装へ。

少子高齢化が進み、労働力不足に直面する日本では、企業の持続的成長には社員の健康や働きがいを重視する経営が求められています。当社では、社員の健康・成長・働きがいを高める『きらねす*プロジェクト』を軸に、部門・事業の垣根を越えて Well-being 経営を推進。「クライアントゼロ」の考えに基づき、得た知見やノウハウを他社へのコンサルティングサービスとして展開し、社会全体の Well-being 向上への貢献を目指しています。

*人的資本経営によって「輝くNECソリューションイノベータ」をイメージしたプロジェクト名。きらねす(名称)および、イメージは社内限定で使用しています。

WHY

- 少子高齢化や労働人口減少により、企業は持続的成長への危機感を抱えている
- 社員の働きがい低下を受け、健康経営に加え、幸福感向上に取り組む企業が増加している

WHAT

- 「社員の幸せ」に焦点を当てた『きらねすプロジェクト』で、健康・成長・働きがいを育む仕組みを整備
- 自社知見と財務と非財務の連動・因果分析を組み合わせた『Well-being経営支援サービス』を提供

HOW

- 社員が成長や幸福を実感できる仕組みを整え、職場における心理的安全性と挑戦意欲を醸成
- 社員の幸福感や満足度の重要な要素である健康・成長・働きがいをデータ化し、企業の課題解決を支援



社会課題

日本社会では少子高齢化による労働人口の減少が進み、企業における人材の確保と持続的成長に対する懸念が広がっています。また、長時間労働やストレスにより働きがいが損なわれ、特に若年層は「未来への期待感」が国際比較でも低いことが指摘されています。こうした労働環境が抱える課題の解決には、多様な価値観に応じた働きがいや職場環境の整備が求められています。

- 高齢化と労働人口減少による持続的成長への懸念
- 長時間労働やストレスがもたらすモチベーション・生産性の低下



社会ニーズ

企業が持続的に成長するためには、社員一人ひとりが健康で、成長と幸福を実感できる環境が求められています。従来の健康経営に加え、心身の健康だけでなく、やりがいや社会的つながりを含む「人的資本経営」への転換が不可欠です。さらに、非財務データと財務成果を関連づけ、経営層に改善効果を示すエビデンスベースの経営モデルが期待されています。

- 社員が成長と幸福を実感できる環境づくり
- 非財務データを財務成果と結びつける経営モデル
- 多様な価値観に応える働き方や職場づくり



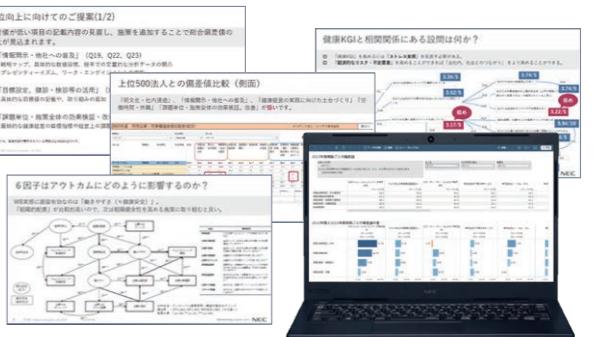
ソリューション

クライアントゼロで磨いた『Well-being経営支援サービス』

当社は「クライアントゼロ」として自社実証した知見をもとに、『Well-being経営支援サービス』を展開しています。非財務データと財務成果の関連を明確に示すことで、企業の業績や成長に関係することを可視化し、経営層の理解とコミットメントを獲得。「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得やエンゲージメント向上など、具体的な成果につなげています。

サービスは社内実証を重ねた上で、コンサルティングへと発展しました。現在は『Well-being経営支援サービス』として体系化し、ISO25554が示す Well-being 経営推進フレームワークに沿って支援するモデルを確立。今後は次世代の働き方や職場環境の創造に寄与するとともに、国内で培った実績を基盤にグローバル市場への展開も視野に入れています。

データに基づいた施策の実施による効果的なWell-being経営実現を支援



気候変動への対応

持続可能な社会づくりに向けて、グローバルレベルでの脱炭素化、気候変動への対応が加速しています。当社では、事業活動による環境負荷やリスクの低減をはかるとともに、製品やサービスに環境の視点を組み込んだ開発を行っています。特に環境配慮基準を満たした製品やサービスには、NECの定める自己宣言型環境ラベル「エコシンボルスター」を付与し、社会全体の環境負荷低減に貢献しています。



TCFD提言に沿った情報開示

NECグループは、2018年にTCFD^{*1}への賛同を表明し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について情報を公開しています。当社は、NECグループの一員として、省エネルギー法の指針に沿ったCO₂排出量削減活動と適切な報告を行っています。
※1 気候関連財務情報開示タスクフォース

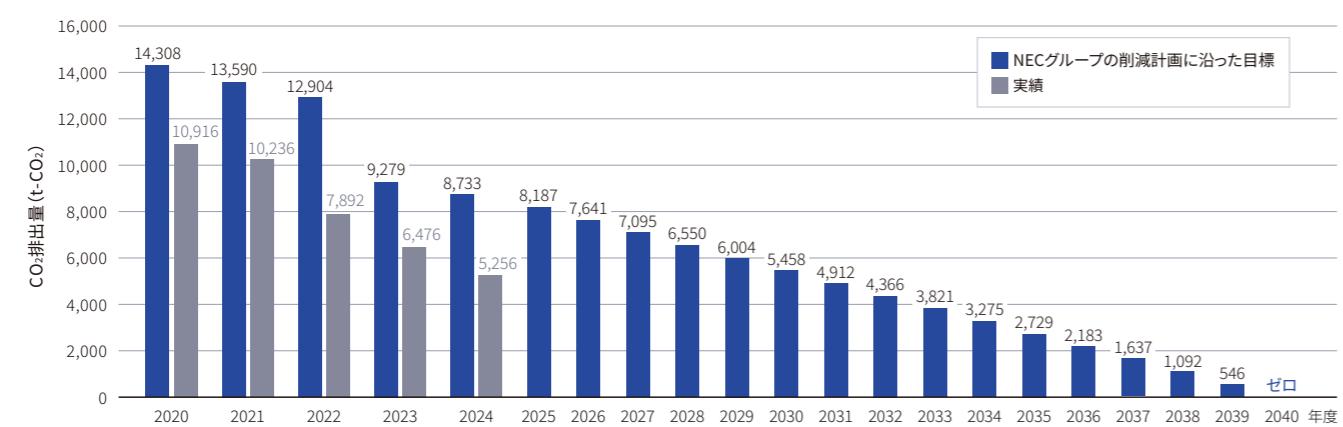


項目	概要	
ガバナンス	● 気候変動を含めた環境に関する重要事項を経営会議で報告 ● 環境管理規程に基づき、環境経営における組織の推進体制、役割、責任および権限を特定し運用	
戦略	● NECグループとして、気候変動を経営の重要なマテリアリティに設定 ● 複数のシナリオを用いて、気候変動による短期・中期・長期の様々なリスクと機会を認識し、対応策を検討 ● 事業機会につながる緩和（脱炭素）／適応関連ソリューションの開発や提供の拡大 ● 脱炭素を目指すための諸施策の実施・実績管理	
リスク管理	● 環境経営推進体制やリスク管理プロセスにて、リスク評価を実施 ● 潜在的および顕在的リスクに対する活動の進捗・成果や課題の把握、今後の計画などを検討し、リスクの低減や未然防止活動を実施	
指標と目標	【2040年目標】 ● Scope1,2,3からのCO ₂ 排出量実質ゼロ	【2030年目標】 ● Scope1,2 50%削減（2020年度比） ● 2040年カーボンニュートラルに向けての再エネ拡大

CO₂排出量目標と実績

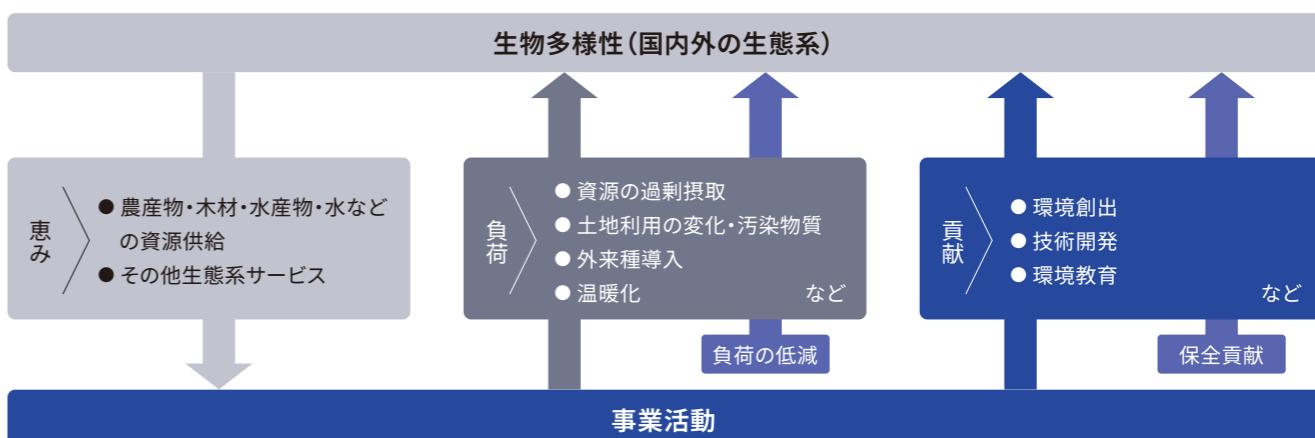
当社はNECグループが策定しているCO₂削減計画に沿った目標を順調にクリアしており、今後もさらに省エネ推進や再生可能エネルギーの活用などをとおして、SBT^{*2}1.5°C目標である2040年カーボンニュートラルに向けて取り組んでいきます。
※2 Science Based Targets

【エネルギー由来のCO₂排出量の目標推移】



自然資本・生態系サービスへの取り組み

私たちの生活や企業活動は自然資本とそれに基づく生態系サービスに支えられていますが、これらの減少・喪失は急速に進んでいます。当社は「ネイチャーポジティブ」に向けての行動を実行するべきだと考えます。事業活動に伴う環境負荷低減をはかるとともに、製品・サービスの提供をとおして自然資本と生態系サービスの保全・回復に取り組み、豊かな地球を次世代へとつなぐ責任を果たしていきます。



企業市民活動の推進

チャリティハーブガーデン活動

都市環境における生物多様性の保全は喫緊の課題であり、東京都は2030年までにネイチャーポジティブの実現を目指す「東京都生物多様性地域戦略」を策定しています。この戦略は、行政、都民、事業者、民間団体など多様な主体との連携・協働を重視し、2050年には「市街地内のみどりの質の向上」を通じて都市とみどりの調和をはかり、個々人が生物多様性を自分ごととして捉える社会の実現を掲げています。

当社はこの東京都の戦略と連携し、地域社会への貢献活動を推進しています。2006年より企業市民活動の一環として開始した「チャリティハーブガーデン活動」は、東京都江東区の景観美化を目的とした取り組みです。

地域住民の皆様とともにラベンダーを中心としたハーブガーデンの維持・管理を行い、また加工品の製作や地域イベントでのチャリティ販売を実施しています。

これらの販売を通じて得られた収益は「花苗基金」として活用され、江東区内の緑化に貢献しています。本活動は、持続可能な社会の実現を目指す東京都の地域戦略とも合致しており、生物多様性の保全と地域コミュニティの活性化に寄与しています。

なお、長年の継続的な活動と地域との連携が評価され、第34回（2024年）全国花のまちづくりコンクール（農林水産省および国土交通省提唱、花のまちづくりコンクール推進協議会主催）の企業部門において、優秀賞を受賞しました。



サービスの
詳細はこち
ら▶



社会との関わり

「NEC Way」に基づいて、高い倫理観を持ち、お客様や社会の本質的な課題を深く理解して顧客起点・社会視点で常に行動し、社会価値を創造し続けることできる社会感度の高い人材の育成と組織風土・文化の醸成に取り組んでいます。

社会的責任の遂行に伴う考え方・方針・取り組みの詳細はこちら▶ 

お客様とともに

お客様とのコミュニケーションを大切に、社員一人ひとりがお客様の期待を捉え、考え、行動することをCS（お客様満足）の基本としています。お客様から選ばれ続けるために、

- 1.お客様の声をいただく
 - 2.社員のCSマインドの醸成
 - 3.組織的なCS向上への取り組み
- の3つの柱で活動を推進しています。



品質向上への取り組み

当社は品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001の認証を取得。データ分析に基づく組織的なプロセス改善に取り組み、組織としてお客様にご満足いただけるソフトウェア製品とサービスの品質向上に取り組んでいます。

Quality Innovation

わたしたち一人ひとりが
誠実さをもって
品質を重視したソリューションを提供し
お客様とともに
社会を支えるイノベーションを追求し続けます

ガバナンス

Principles(行動原則)に「常にゆるぎないインテグリティと人権の尊重」を掲げ、コンプライアンスを経営の基本に置き、役員から従業員に至るまで、全社的な取り組みを継続的に実施しています。

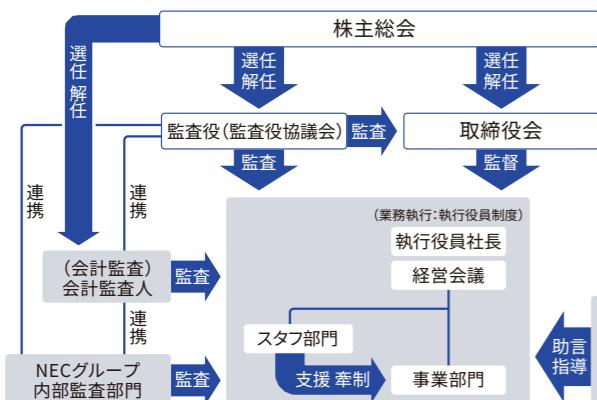
ガバナンスの高度化に伴う考え方・方針・取り組みの詳細はこちら▶ 

コーポレート・ガバナンス

当社は、持続可能な社会の実現を目指して

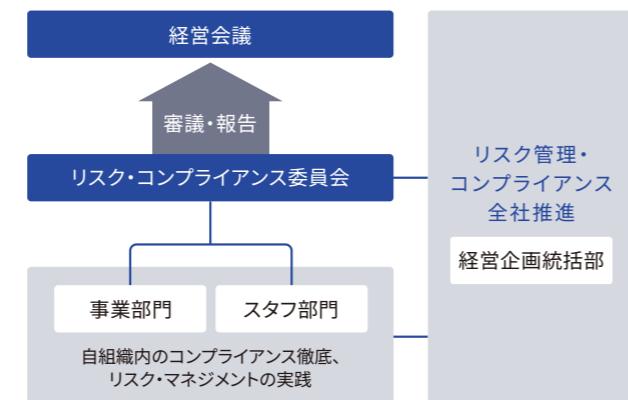
- 1.経営の透明性と健全性の確保
- 2.経営のスピードアップ
- 3.戦略の強化

の3つの基本方針に従い、ガバナンスの強化に努めています。業務執行の体制、経営監視および内部統制の基本的な仕組みは下図のとおりです。



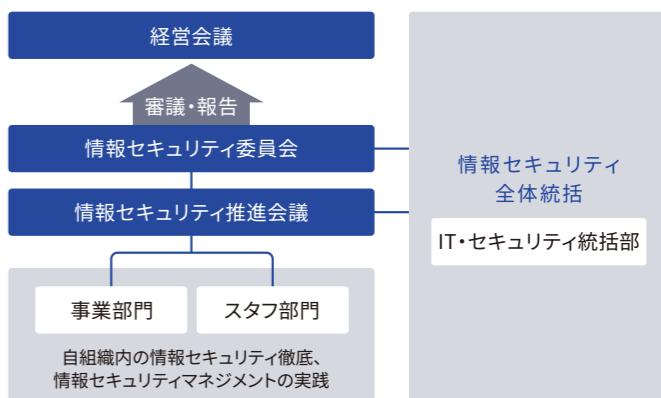
コンプライアンスとリスク・マネジメント

役員・従業員の一人ひとりがコンプライアンスを自分ごととして認識し、Code of Conduct(NECグループ行動規範)に基づく行動を日々実践することで、コンプライアンスを当社の企業文化にすることを目指します。下図のとおり推進体制を構築し、コンプライアンスの徹底と効果的なリスク・マネジメントの実践に全社一丸となって取り組んでいます。



情報セキュリティ

当社はスタッフ部門を含む全社全部門を登録範囲として、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際規格であるISO27001の認証を取得。「NECグループ情報セキュリティ基本方針」に則り、セキュアな情報社会の実現とお客様への価値を提供することで、「人と地球にやさしい情報社会」の実現に貢献します。また、右図のとおり情報セキュリティ推進体制を構築し、継続的な情報セキュリティの維持・向上をはかっています。



認証・認定



企業情報

会社名	NECソリューションイノベータ株式会社 (NEC Solution Innovators, Ltd.)
設立年月日	1975年9月9日 ※2014年4月1日 NECソリューションイノベータ発足
資本金	8,668百万円
代表者	代表取締役 執行役員社長 岩井 孝夫
従業員数	12,497名(2025年3月31日時点)
本社所在地	東京都江東区新木場一丁目18番7号
電話番号	(03) 5534-2222(代)
事業内容	システムインテグレーション事業／サービス事業／基盤ソフトウェア開発事業／機器販売
株主	日本電気株式会社
子会社	フォーネスライフ株式会社
海外連携拠点	NEC软件(濟南)有限公司／日電卓越软件科技(北京)有限公司 NEC Vietnam Co., Ltd.／NEC Corporation India Private Limited